



11月11日、若い世代の意見をまちづくりに生かすため、兵庫教育大学で「学生フェスタ」が開催され、市内に在住・在学する学生から、「こんな加東市に住んでみたいな」をテーマに意見発表がありました。その内容を要約してお伝えします。

まちの長所を伸ばして

附属中学校3年生 戸田朝子さん

加東市の良いところは、「住みよさランキング」県内4位であること、歴史が深いこと、災害が少ないこと、人口が増加していること、釣り針や桃、山田錦など、有名な特産物があることなどです。

良くないところは、大型ショッピングセンターがないこと、観光客がほとんどいないこと、交通機関が充実していないことなどです。

もし、私が市長になったら、加東市の良いところを伸ばしたいです。広報紙やケーブルテレビ、インターネットや雑誌などを用いて「宣伝」します。また、市内の名所バスツアーや、学校で加東市について学ぶのも良いと思います。公共交通機関を増やすなど、良くないところの改善も大切です。子どもには「将来、加東市で家庭をつくりたい」と思ってもらえ、大人には、「最後の最後まで加東市に住みたく

い」と言ってもらえる加東市になればと思います。



緑あふれるまちづくり

滝野中学校3年生 川越涼太さん

加東市をより良くするためには、2つのことをすればいいと思います。

1つ目は、「緑の豊かなところを生かす」ことです。僕の学校では、各クラスで花を育てるコンクールがありました。このように、花と触れ合う機会を増やせば、花に親しみを持つ人が増えます。そして、緑が豊かなところを生かして、花屋などを増やせば、「加東市はきれいな花がたくさんあるまちだ」と、多くの人が訪れるでしょう。

2つ目は、医療の充実です。最近、医師の数が少しずつ



減っていて、病気にかかっても診察してもらえなくなるかもしれません。病院の数を増やすなどして、少しでも病気で困っている人を助けることができたら、住み心地の良い加東市になると思います。

子育てのまち加東を目指して

社中学校3年生 小紫晟子さん

今回の発表にあたり、私は3年生全員にアンケートをとりました。「加東市のよい所は」との質問では、「自然が豊か」「地域の交流が良い」「祭りが多い」などでした。

「加東市の良くない、足りないところ」では、「店が少なく」「交通の便が悪い」「危険な箇所がある」などでした。「加東市を良くするために

どうしたら良いか」では、「交流を増やす」「施設や店を増やす」「ゴミをなくしてきれいなまちにする」「行事を増やす」「街灯を増やす」などでした。

私は、これらを豊かな自然環境を壊すことなく、実現できればと思います。子どもの頃の環境はずっと忘れません。子どもたちが元気だということ、家族が元気、地域が元



気であるということ、子どもの将来は、加東市の将来です。「そろばんのまち小野」「金物のまち三木」「織物のまち西脇」。そして、「子育てのまち加東」。いかがでしょうか。

公共交通や雇用の確保を

東条中学校3年生 若浦愛美さん

加東市に期待するもの、必要なものは何でしょうか。生活に必要なものは、食料など生活必需品を買い取る商業施設、病院、交通機関、学校、そして、それらに関するお金です。

商業施設は、生活できるだけの物は揃っていると思いますが、病院は、市民病院がありませんが、開業病院は少なく感じます。

私たち学生や高齢者の足であるバスは、少し足りないと思



思います。走る区間や通学時間帯の本数、バスの活用が増えるようになる施策を検討してほしいです。学校は、教育を受けるために必要なところ、そして、まちの環境を良くするために、教育の質の向上が大切です。そのためには、兵庫教育大学のさらなる活用や交通網の整備が重要です。そして、お金を儲けるためには、経済の発展が必要です。もっと企業を誘致して、職場

を増やすことが大切だと思います。

加東市には、もっと良くなる要素がたくさんあります。「学生である私たちが加東市を支える」気持ちで、これらを実践できる力を身につけ、加東市のために貢献できる人間になりたいと思います。

街灯、防犯パトロールの充実

社高校2年生 内山彩音さん、神戸奈津希さん



その一方で、不審者情報が多く、社高校の生徒数名も不審者に遭遇しています。こうした被害を減らすために、治安面を強化してほしいです。街灯が少なく、道が暗いところがあることで、街灯の数や防犯パトロールを増やしてほしいです。中学生が安全に登下校できるようにすることで、本人だけでなく家族も安心できます。

加東市は住宅地や教育施設が多く、自然も豊かで、とても住みやすいまちです。

もう一つは、歩道の整備です。市内には、歩道の少ないところ、狭いところ、無いと

ころがあります。非常に危険で、交通事故の原因にもなります。子どもや高齢者が、安心して道を歩ける環境づくりのために、ぜひ、お願いします。このほか、バスなどの公共交通機関をもっと増やせば、高齢者や子どもたちの行動範囲が広がり、良いと思います。これからの、こうした場で得られた意見をまちづくりに生かしていくとともに、私たちも交通マナーを守るといった細かい気配りを行うことで、市外に住む人たちも住みたくていきたいと思います。

まちの魅力、もっとPRして

小野高校2年生 村上亜美さん、村上恵美さん

加東市に足りていないものの一つはPRです。

加東市は「住みよさランキング」の上位で、図書館は図書貸出密度日本一、そして日本管コンクールの一つです。しかし、市内の友達の間でそのことを知らなかったのです。

では、いつ、どこでアピールするかというところ、一つは市のホームページ。最近の若者はインターネットをよく利用します。もう一つが、貼り紙です。貼る場所は、バス停など、中学生が見る機会が多いところがいいと思います。

次に、マスコミキャラクター「加東伝の助」の活用として、伝の助の出張サービスはいかがでしょう。学校行事に伝の助が駆け付けると、その人の心には伝の助が印象深く残り、加東市のイメージが持ちやすくなります。

次に教育についてです。子育てをする人にとって、その地域の学校のレベルは気になることではないでしょうか。

学校のレベルを上げるのは難しいですが、少しでも教育環境を良くするために、図書



館の開館時間を延長するのが良いと思います。図書館で勉強したいと思っても、学校が終わる時間には、すでに閉まっていることが多いので、誘惑の多い家で勉強することになりがちなのです。また、図書館や市役所に、勉強などが自由にできるスペースを増やすことができます。小さいことですが、改善されると、私たち学生にとって大変ありがたいです。